



# リファイン新聞

2月  
第43号

リファイン大分の各部署をご紹介します！

## リネン事業部 タオルチーム



私たちはタオルの洗濯と仕上げを行っています。日々の業務の中で、特に気をつけていることは、タオルをよく見て、汚れやほつれをチェックすることです。ほつれや破れがあれば廃棄し、もし汚れがある場合は再度洗濯を行っています。これからもお客様にご満足いただけるように迅速丁寧に頑張ります！

チームリーダー(課長)  
宇簿修



## 今月のありがとう



2020年12月に弊社の月例会で発表した『今月のありがとう』をご紹介します♪



- ①階段の踏み外し防止策として、課長が階段幅を広げる工夫をしてくれました。使い心地は良いようです。
- ②シューズカバーの使用を徹底化させるため4号機流し側床に、シューズカバー脱着の注意書きが掲示されました。商品に汚れをつけない為の工夫です。
- ③ピローケースの時間帯ごとの目標、実績の見える化ボードが出来て、分りやすくなりました。
- ④ 第1工場にある連続洗濯機周りの掃除を実施。細かい所まで見てくれてます！より働きやすい環境が整いました。みなさんに感謝です！ありがとうございます！



## 社長のノート

月日が経つのは早いもので、2011年に社長に就任して以来、今年の9月でちょうど10年になります。会長ストーリーのコーナーで事業承継の話がありましたので、今回は社長に就任した時のことをお伝えします。私は21歳でリファイン大分に入社しました。リネンの仕事、営業、会計事務、スタッフの採用など様々な経験を重ね、「社長になりたい!」という思いが強くなってきました。当時の社長(現在の宮迫会長)に思いを伝えたところ、私が35才になるまでに社長に就任することになりました。誕生日が10月2日なので、35才になる1ヶ月前の2011年9月1日に社長に就任しました。社長になってみて驚いたことは銀行の借り入れ手続きの切り換えです。社長になる前は、代表者ではないので2番手として連帯保証の印鑑を押していましたが、社長になると私単独の印鑑となり、責任感が高まり気が引き締まりました。また就任当時は、名刺交換をすると「創業されたんですか?」とよく聞かれました。事業承継し



代表取締役社長  
宮迫賢太郎

て会社を引き継ぐ場合は40代の方が多いので、当時30半ばの自分は2代目社長としては若く見られたからだと思います。そういう意味では、自分になりたいからと言って社長になれるものではないので、若くして任せてくれた父に感謝しています。社長就任以来、「就労継続支援A型事業所ロイヤルウォッシュ」の立ち上げなど色んなことがありました。今までの経験を踏まえてこれから会社をどうするのか。未来の展望は次号でお伝えいたします。

## 社長の思い出写真集 X'mas 編



去年の12月24日に、家族でクリスマスパーティーを行った時の写真です。チキンやケーキを食べて盛り上がりました。親にとっては子ども達の笑顔が何よりのクリスマスプレゼントです。



## 総務部のツイッター で日々の取り組みつぶやき中!

ツイッターにログインして、ぜひアカウントをフォローしてください!

@refineoitasoumu



### 年末の大掃除でピカピカに!

@refineoitasoumu 12月29日  
年末の大掃除。寒い中だったけど、水を浴びながら頑張りました!! すっごく綺麗になりました。



### 焼き芋であっまるう!

@refineoitasoumu 1月6日  
ベトナムからの実習生の実習期間がそろそろ終わってしまうので、思い出作りの一つとして課長が焼き芋を作ってくれました。寒い日だったので、なおさら美味しく頂けました。



### クリスマスのお礼のご挨拶

@refineoitasoumu 1月7日  
今年のクリスマスも犬飼放課後児童クラブの子どもたちにプレゼントの協力をさせていただきました。そのお礼にと寒い中挨拶に来てくれました。寒い中、ありがとうございます。



代表取締役会長  
宮迫忠三

## Kaicyo History

### 会長が歩んだ道 vol.35

### 2008年9月本工場完成 編

今年の冬は九州の平地にも雪が降り、寒い日が続きますね。リファイン大分の工場では冷暖房を完備しており、工場内は作業しやすい温度になっています。1986年に創業して以来、働きやすいように職場環境の整備に努めてきましたが、2008年2月に工場が全焼し、同年9月に本工場完成するまでの約半年間は、仮設工場での仕事であったため、職場環境が今とは違い何かと大変だったと思います。特に心配だったのが台風です。仮設工場の

壁はブルーシートで代用していたため、もし大型の台風がきたら大変だったかもしれません。幸い、台風が来なかったことで事なきを得ました。2008年9月には新しい本工場が完成。同年12月には、本社管理事務所が完成しました。当時、私は62歳。まだまだやれる!と気合いが入っていました。新たな環境の元、スタッフ一丸となって、より良いサービスを追求し続けた結果、お取引先は順調に増え続けました。

そして、新たな工場が完成した3年後の2011年の9月に、長男の宮迫賢太郎が代表取締役社長に就任し、私は代表取締役会長に就任することになりました。

(次回に続く)

